

南 浦

ホームページはこちらのアドレスです
<http://www.education.ne.jp/mitaka/minamiura-es/>

学校の自然

「モクレン」



モクレン科 中国原産
 6枚の紫色の花弁がつきました。プールのとなりに咲いています。

5月の生活目標

廊下は右側を静かに歩こう
 そうじをしっかりとしよう

子どもたちにとって安全・安心な学校・社会を目指して

校長 藤原 和彦

熊本県熊本地方で、4月14日(木)21時26分、マグニチュード6.5の地震(前震)が、4月16日(日)1時25分マグニチュード7.3の地震(本震)が起きました。その後も震度5弱以上の余震もかなりの頻度で起こっています。1995年阪神淡路大震災、2004年新潟中越地震、2011年東日本大震災、そして2016年熊本地震と、この20年間に4つもの大きな地震が起きています。ということは、いつこの東京に大きな地震が起こってもおかしくはありません。また日本のどこで地震に遭遇しても不思議ではありません。毎月の避難訓練は勿論ですが、常に今地震が起きたらどう行動したらよいか考えておくことはとても大切だという話をしました。ご家庭でも、昨年配布された「東京防災」を使うなどして、再度、地震について考えてみてください。



また、保護者や地域の方の中にも、お知り合いが被災した方がたくさんいるかと思います。私の友人も熊本に住んでいて、今回の震災に遭遇しました。2日間連絡が取れなかったのですが、日曜日ようやく連絡が来ました。僅かなメールの中に、「水道の水が飲める、暗くなったら電気がつく、布団で眠ることができる。当たり前だと思っていたことができなくなる。当たりの幸せをつくづく感じています。」とありました。当たりのことが当たり前にできる幸せ、いつもそんな学校、社会でありたいものです。

話は変わりますが、4月に本校で、携帯電話に関する以下のようなトラブルがありました。①携帯電話のカメラ機能で、公園のトイレから出てきたところを写真に撮られた。②公園で遊んでいたら、いざこざになり、携帯電話で写真や動画を撮られた。③友達の携帯電話を勝手に使って、メールを送った。などです。携帯電話やスマートフォン、PCに関するモラル教育の重要性がますます高まっています。学校では高学年を中心に SNS も含めて携帯等の使い方について学級ごとに考える時間を作ります。ご家庭でも、「連雀わが家のスタンダード」、「ネット社会を生きる力を育てるために(三鷹市教育委員会)」、「SNS 東京ルール」などを活用して、家庭でのルールについて再度考えてみてください。

子どもたちに、自然災害を含めて危険を回避する力を育てていくためには、学校の指導はもとよりご家庭での取り組みが今後ますます大切になります。各家庭でもう一度、防災や携帯電話、スマートフォン、PC、ゲームの使い方等について相談してみてください。

5月の学校行事

2日(月)	引き渡し訓練(5校時)	19日(木)	家庭訪問③ 尿検査(2次)
6日(金)	委員会 内科(3)	20日(金)	自然教室終(6) 家庭訪問④
9日(月)	遠足(5) 内科(2) 消防写生会(2)	23日(月)	教育実習始 遠足(3)
10日(火)	遠足(4) 心臓検診(1)		内科(1)
11日(水)	尿検査(予備)	24日(火)	遠足(1)
12日(木)	耳鼻科(全)	26日(木)	自転車教室(3年・2.4~6年は映画)
13日(金)	クラブ活動① 内科(4)	27日(金)	ダンス週間始 内科(5)
16日(月)	1年生5時間授業開始 内科(6)	30日(月)	遠足(4・5年予備)
17日(火)	自然教室始(6) 家庭訪問①	31日(火)	学園研究授業日
18日(水)	家庭訪問②		【水曜時間割】 4時間授業

今月の話題

「学び合いのある授業」を目指して

校内研究の取り組み

研究主任 伊藤 貴之

今年度は連雀学園の研究主題「創み出し かかわり高め合う児童・生徒の育成」の第二期に入ります。昨年度まで、研究をしてきたことを生かし、また新たな気持ちで授業研究を進めていきたいと考えています。今年度は体育科の授業を中心に以下の視点にたち、授業力を向上させていきたいと思っております。

- ① 学習（単元）の導入の場面において、子どもの学習意欲を高め、引き出せるような教師の指導
- ② 聴き合う（訊き合う）知的コミュニケーションを生み出すための教師の指導
- ③ 自らの学び全体の振り返りをするための教師の指導

以上の3点を意識し、子どもたちが自己の考えや能力を向上させ、よりよい自分になるとうとする心を育むような授業を行っていききたいと考えています。

これからの変化の激しい時代を生きていく子どもたちに、「何を知っているか」ではなく、それを使って「何ができるか」「いかに問題を解決できるか」という資質・能力を育てる授業づくりをしていきます。

参考『資質・能力』 国立教育政策研究所

職員の窓

栄養士の仕事と願い

栄養士 嶋谷 真理

今年度、南浦小学校の給食数は800食を超えました。毎日大忙しで給食を作っています。今回は栄養士の仕事についてお話しさせていただきます。主な仕事は給食に関わる配布物や掲示の作成、調理器具の購入や厨房施設の管理、特別食に関する対応管理等になります。

中でも特に大変なのは毎月の献立作成です。三鷹市小学校に勤務する15人の栄養士が会議にて決定した献立を基に、南浦小学校の実情にあわせアレンジを加えていきます。本校の施設と人員に配慮し、旬や行事、特別食の対応、食材やメニュー同士の組み合わせ等を考慮して栄養価と食品群を整えます。細かなパズルのピースを合わせていくような感覚です。

栄養士の想いがこもった献立を、調理員が心を込めて形にしていきます。沢山の人が関わり提供される給食を、是非残さず食べてもらいたいと思います。

時代の要請に応える教育活動

その2

ICTを活用した学習指導とは

情報教育推進担当 桑原 貴美子

本校では、昨年10月より、三鷹市教育委員会より指定を受け、ICT授業活用モデル校として、タブレットパソコンを活用した実践を積み重ねています。児童の主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）の充実を図るための指導・学習ツールとして活用しています。今後目指す授業としては、主に以下の3つです。

- 児童がICTを思考・表現ツールとして活用し、自らの考えを豊かに発表・表現する授業。
- 児童がICTをコミュニケーション・ツールとして活用し、課題解決に向けてお互いの考えを共有・検討して新たな考えを生み出す授業。
- 教師がICTを活用し、児童の学習状況を把握し、個別指導に生かしたり、一斉指導の中で個々の考えを位置付けて集団の学びを深めたりする授業。

今年度も学校公開や公開授業を行いますので、是非ご参観ください。

コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実

その2

連雀学園の乗り入れ授業について～英語～

英語担当 朝比奈 美枝子

本校では、第一中学校の英語科の先生が6年生の外国語活動と一緒に入っていただきます。その乗り入れ授業は、今年度で3年目になります。

6年生の授業では、担任・ALT・中学校の先生と3人で教えることとなります。それにより、コミュニケーション活動もより多くの支援をすることができます。また、「英語を書きたい」という意欲が高まっている6年生に対して、発展的に英単語を書かせることができます。

こうした南浦小と一中の取り組みは、全国的にも画期的なものです。昨年度もその評判を聞いた他県の先生方が、授業の参観にいらっしました。これからも、中学校へのスムーズなバトン渡しのために、今年度はさらに英語教育を推進してまいります。

今年度のALTの先生方は

カルミナ アンブロシオ先生

グレンダ メレンドレス先生

デージー ツネスミ先生

です。よろしくお願ひします。

5月9日より、末光怜奈養護教諭が産休に入ります。つきましては、一昨年度も本校にお力添え頂いた、工藤友記子産休代替教諭が養護教諭を務めます。